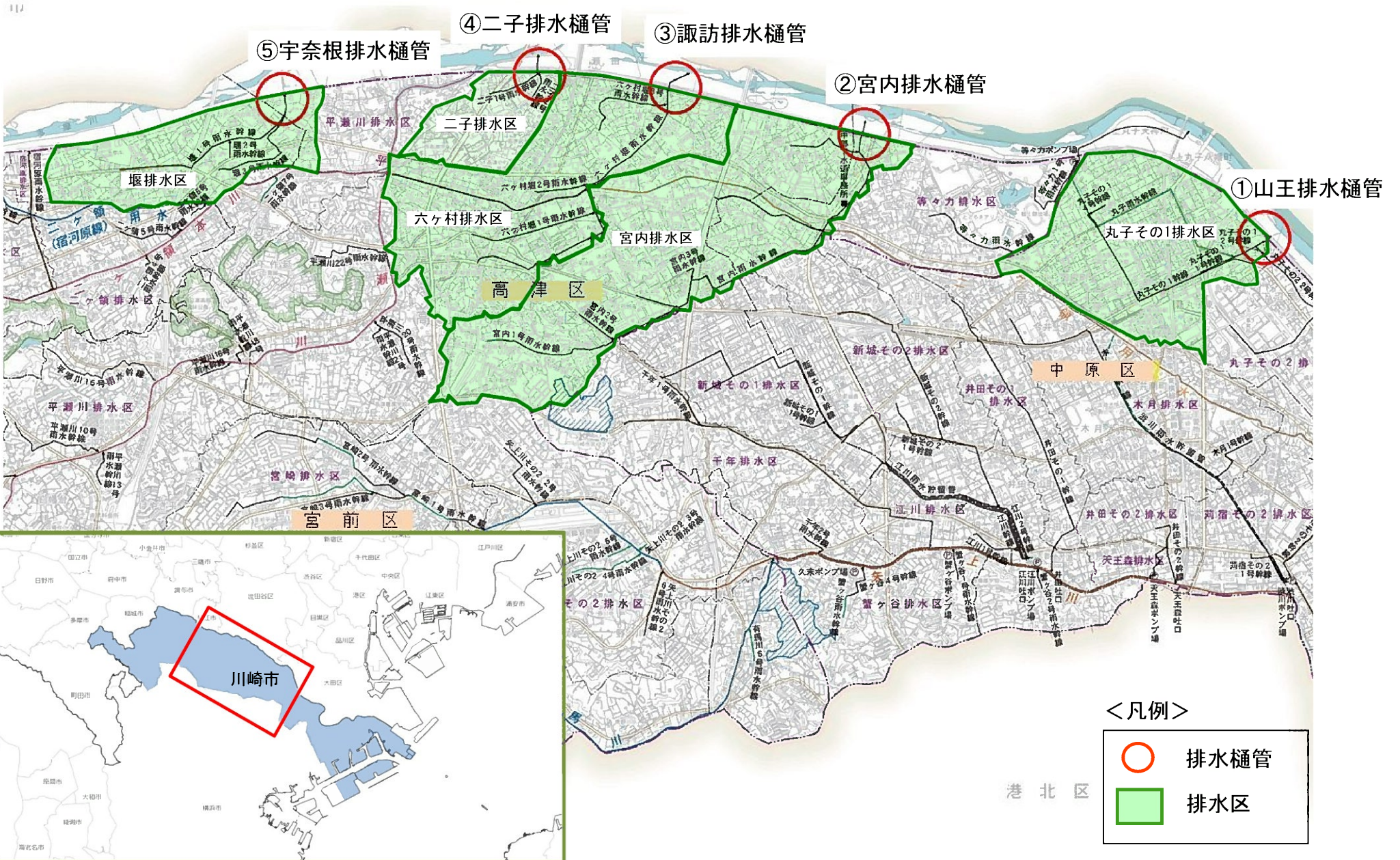


環境委員会資料
令和元年10月31日

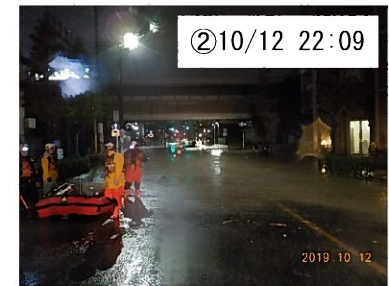
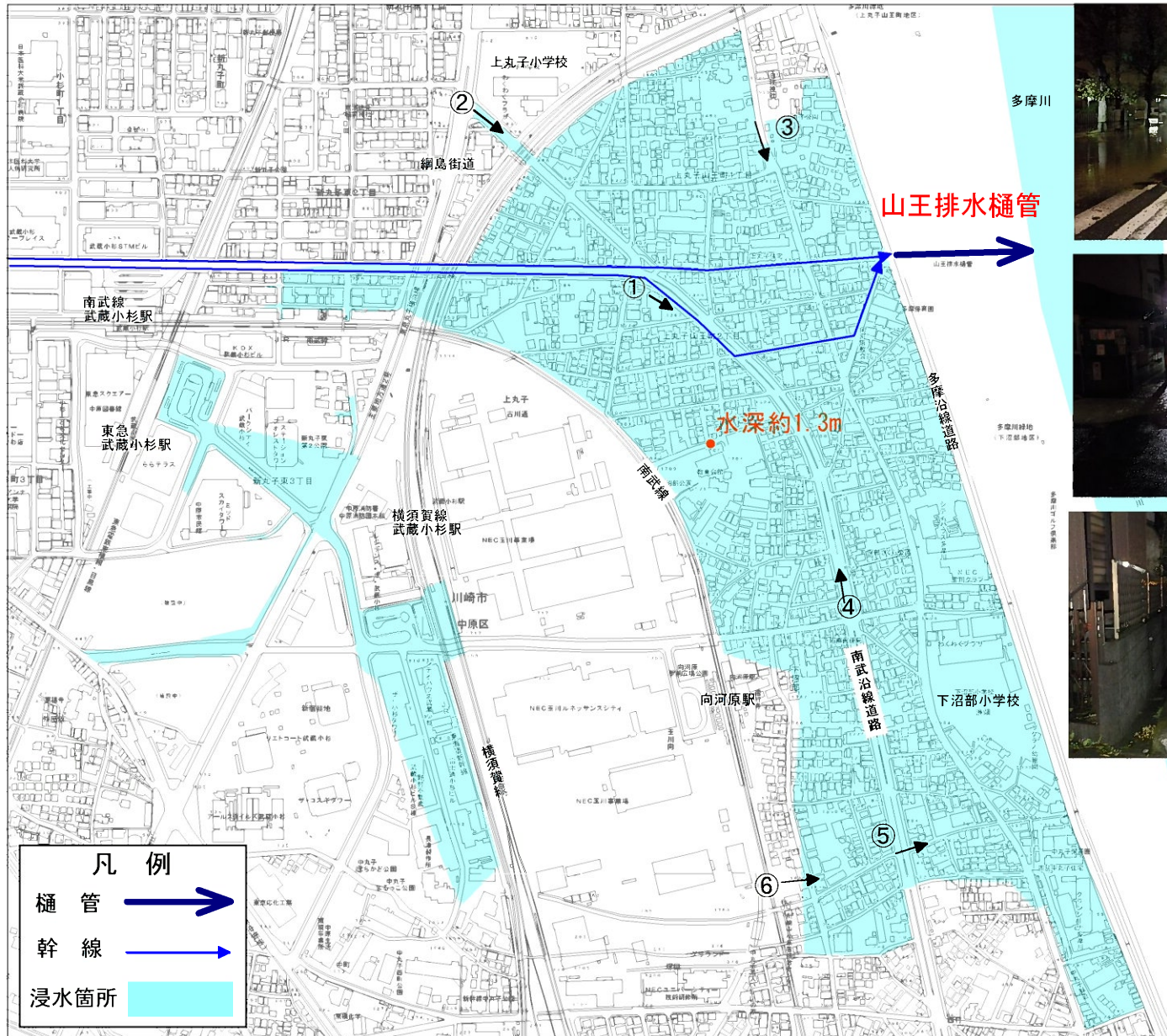
令和元年台風第19号による排水樋管周辺地域 における浸水被害について

上下水道局

令和元年 台風第19号による排水樋管周辺地域における 浸水被害の概要について

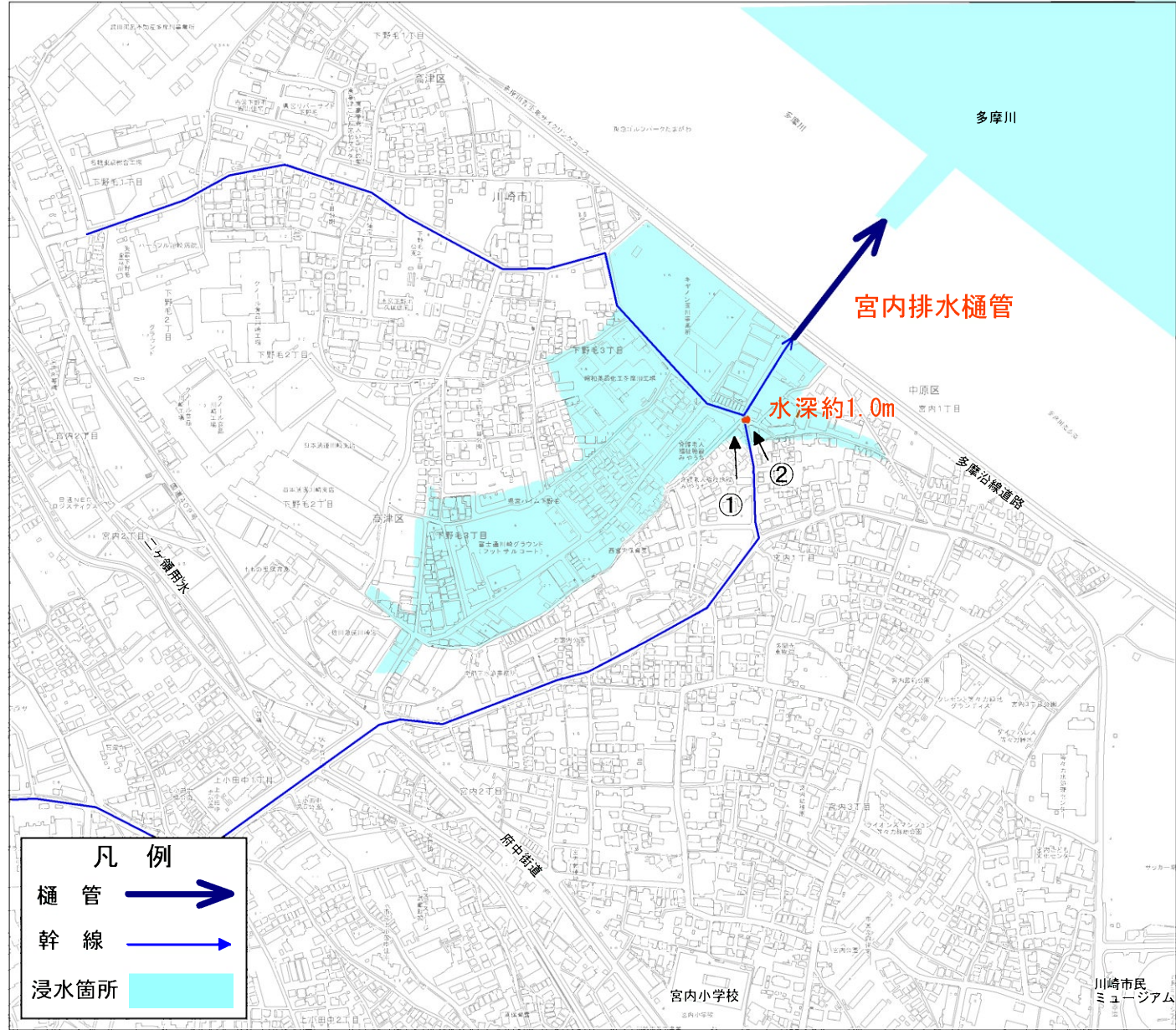


①山王排水樋管



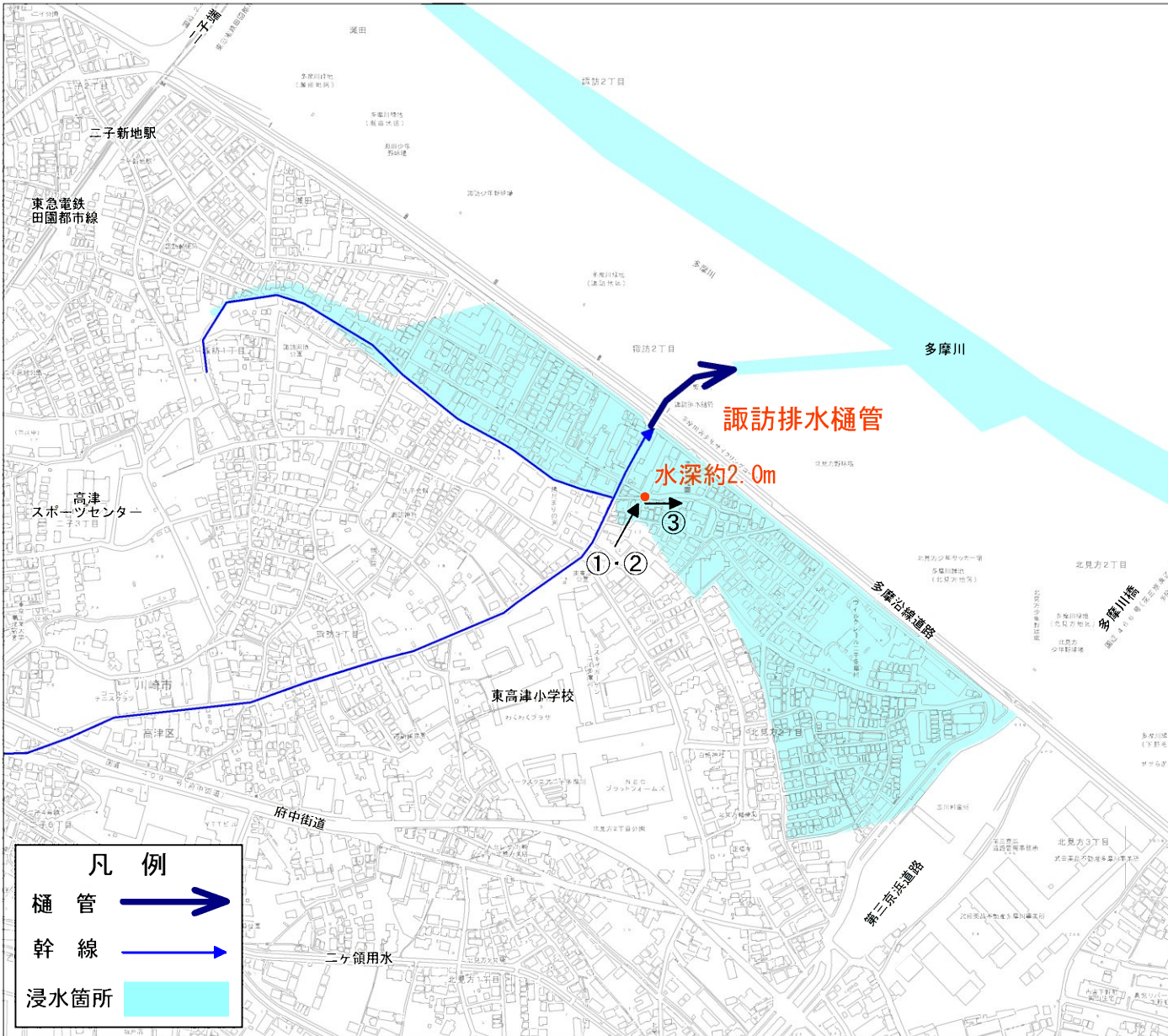
想定浸水面積
約4.5ha

②宮内排水樋管



想定浸水面積
約 1.1 ha

③ 諏訪排水樋管



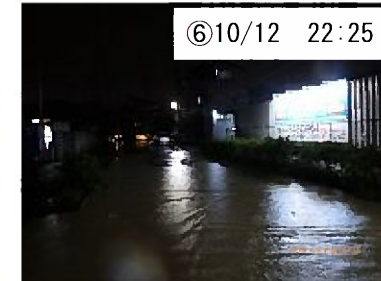
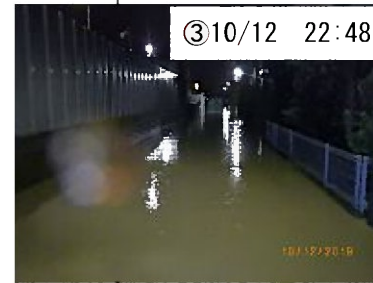
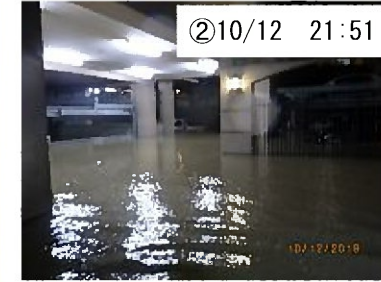
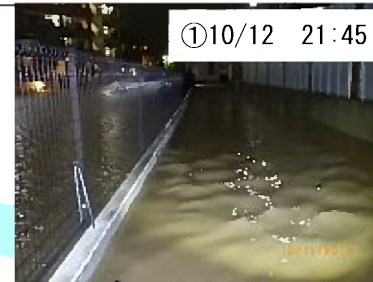
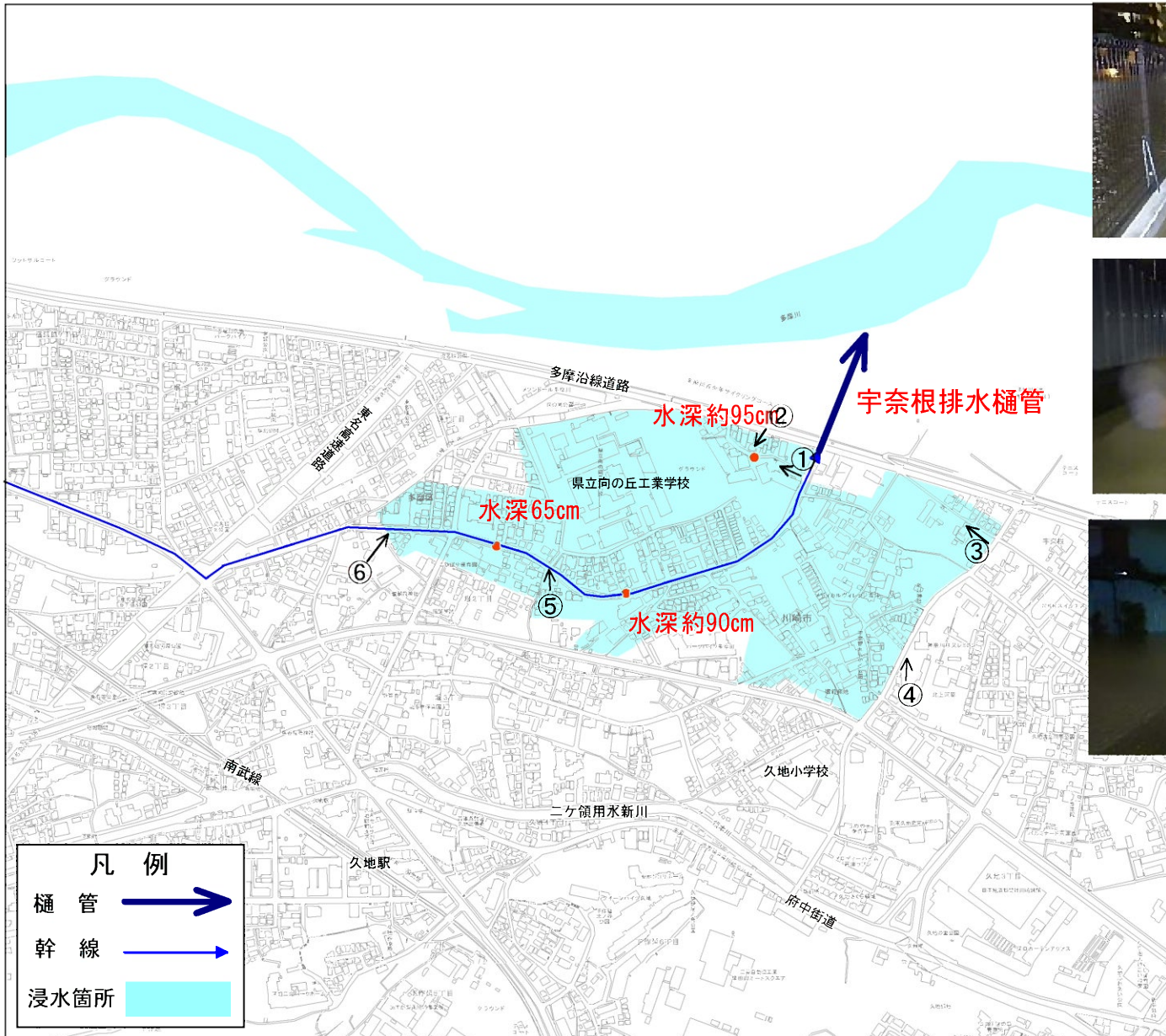
想定浸水面積
約 1.3 ha

④二子排水樋管



想定浸水面積
約 1 ha

⑤宇奈根排水樋管



想定浸水面積
約22ha

山王排水樋管における令和元年台風第19号の災害(浸水)対応について

<山王排水樋管案内図>



全景写真1



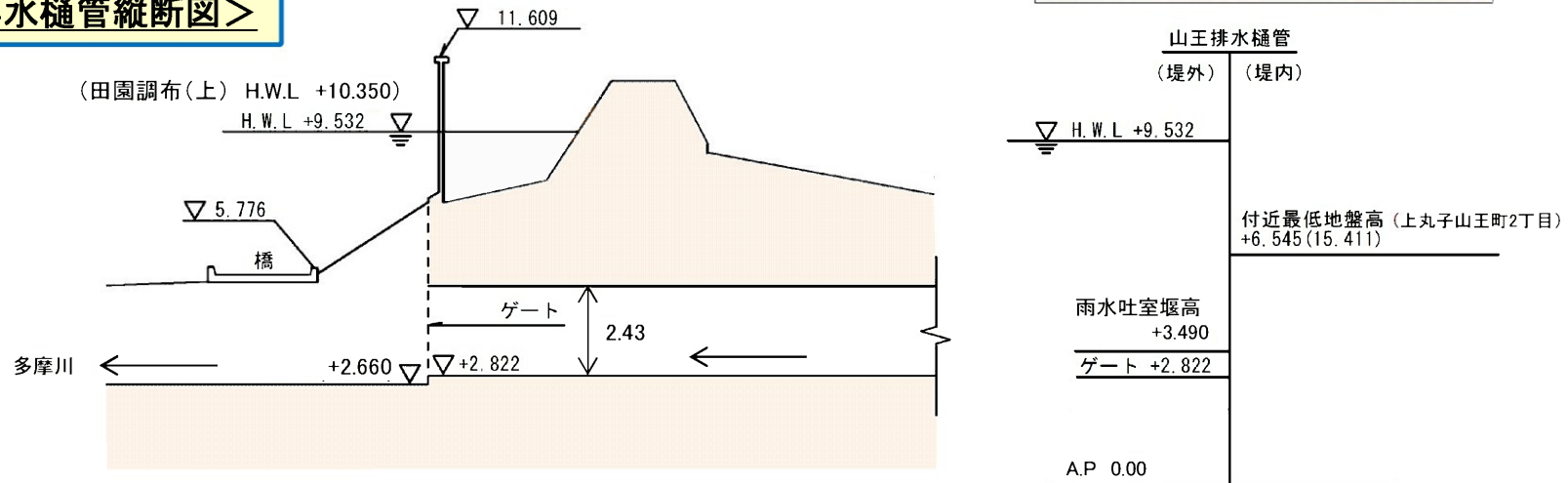
全景写真2



樋管ゲート写真



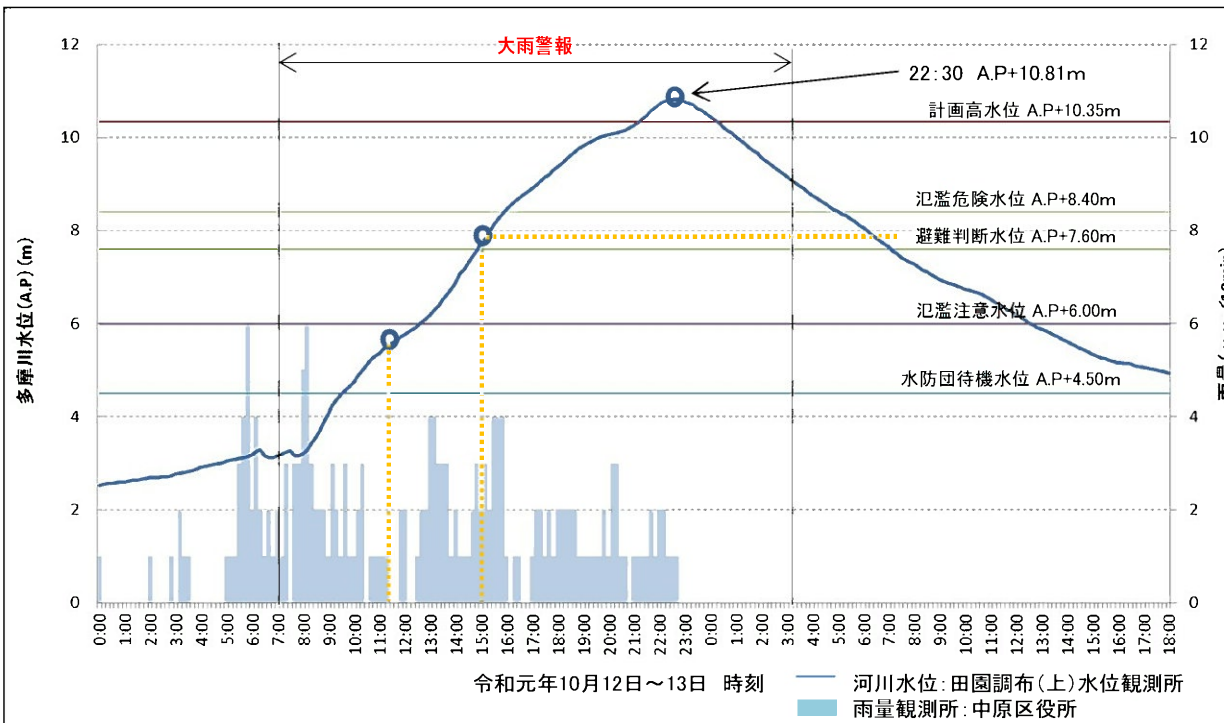
<山王排水樋管縦断図>



山王排水樋管における令和元年台風第19号の災害(浸水)対応について

<山王排水樋管について>

- 山王排水樋管は、操作手順に従いゲート进行操作
 - 多摩川水位が上昇し、浸水被害の恐れがある場合、山王排水樋管ゲートの閉鎖の判断を行う
 - ・内陸に降雨または降雨の恐れがない状態において、山王排水樋管地点の河川水位がA.P+3.49mを越えた時点で山王排水樋管のゲートを全閉にする
 - ・田園調布(上)水位観測所の河川水位A.P+7.60m(避難判断水位)において、周辺状況及び丸子ポンプ場の状況を踏まえ、ゲートの開閉を総合的に判断
 - ・降雨がある場合や、大雨警報が発令されている等、降雨の恐れがある場合は、山王排水樋管ゲートを全開にする



【活動記録(10月12日～13日)】

12日

- 09:05 パトロール、水位測定開始
- 11:30 山王排水樋管地点の河川水位がA.P+3.49m 超を確認
⇒降雨があるためゲート閉鎖を行わず
- 15:00 田園調布(上)水位観測所の避難判断水位A.P+7.60m超えを確認し、総合的に判断してゲート閉鎖を行わず
- 22:52 ゲート閉鎖を開始
⇒降雨の恐れがない
丸子ポンプ場が水没の恐れ
河川水位が高い

13日

- 10:50 ゲート全閉(段階的に閉鎖)
- 16:50 ゲート全開

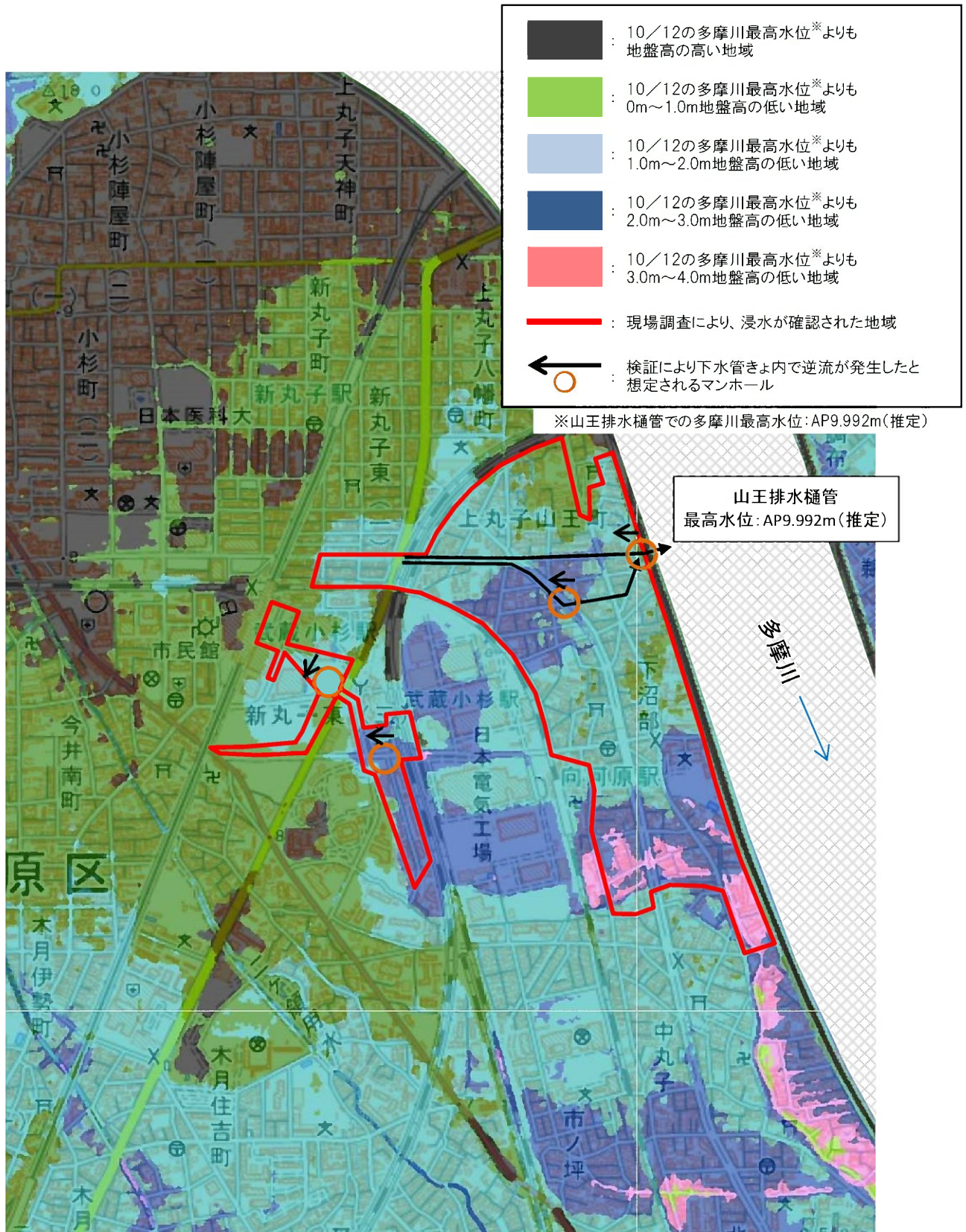
<浸水の原因について>

- 浸水原因については、既往最高水位を超える多摩川の高水位があったことや、土砂堆積の状況から、河川水の逆流によるものと考えている

<今後について>

- 浸水メカニズム及び樋管ゲート操作に関する検証を進め、同様な事態に遭遇しても、被害を最小化できる方策を検討する

山王排水樋管周辺地域の地盤高図と浸水範囲



出典: 国土地理院ウェブサイト(<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)
 ※色別標高図を加工して作成

浸水原因について:

山王排水樋管における10/12の多摩川最高水位(AP9.992m)よりも地盤高の低い地域で浸水が発生している。また、下水管きよ内で逆流の発生が確認される。さらに、浸水が発生した地域での土砂堆積状況からも、河川水の逆流による浸水が発生したものと考えている。